

# きそさき 議会だより

VOL. **86**  
2016  
平成28年2月1日発行



今回の表紙(ぬりえ)



中部幼稚園・保育園  
はない わかなさん  
の作品

## おもな内容

第4回定例会 **2~3**

ここが聞きたい【一般質問】 **4~6**

議会日誌 **7**

行政報告 **8~9**

議員トピックス **10~11**



平成27年第4回木曾岬町議会定例会は、12月10日から17日までの8日間の会期で開催されました。

今回の定例会には、平成27年度の各会計補正予算案件5件、条例改正案件2件、協議案件2件、承認案件2件の、合わせて11件の議題が審議されました。

会期日程の議事の内容は次のとおりです。

10日の開会日には、会期の決定を行った後に、加藤町長から行政報告を受け、その後、承認案2件を上程し、町長の提案理由の説明と所管課長の説明を受け、質疑・討論・採決を経て、原案のとおり承認されました。次に、議案9件を一括上程し、町長の提案理由説明と所管課長の詳細な説明を受けた後に散会しました。

15日には、一般質問が行われ、2名の議員が質問に立ちました。(その内容は「ここが聞きたい一般質問」を参照)その後、議案の質疑を行い散会しました。

17日の最終日には、初日に上程された議案9件について、討論・採決を行い、全議案ともに全会一致で原案のとおり可決し、第4回定例会は閉会されました。

# 平成27年 第4回 木曾岬町議会 定例会



## 議事内容

### 可決した議案 ◎執行部提案

議件名（議案の内容）

#### 議案第62号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計補正予算(第3号)について

※既決予算額の総額から歳入歳出それぞれ2,100千円を減額し、予算総額を420,191千円とする補正予算です。主な補正内容は、歳入では、介護保険料の確定及び国・県・支払基金交付金等の確定に伴う減額、歳出では、居宅介護サービス給付費、介護予防サービス給付費において実績により減額し、特定入所者介護サービス費では今後の伸びを見込み、増額が行われています。

#### 議案第63号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町公共下水道事業特別会計(第2号)について

※既決予算額の総額から歳入歳出それぞれ474千円を減額し、予算総額を295,862千円とする補正予算です。主な補正内容は、歳入では、前年度からの繰越金の確定に伴う一般会計繰入金金の減額、歳出では、人件費関連予算の増額が行われています。

#### 議案第64号

木曾岬町税条例等の一部改正について

※地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令等の一部を改正する政令、地方税法施行規則の一部を改正する省令が平成28年1月1日以降に施行されること並びに同法施行規則等の一部を改正する省令が9月30日に公布されたことに伴い、本町税条例等の一部改正が行われています。

#### 議案第65号

木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部改正について

※教育振興並びに創造性豊かなふれあい文化の町の形成に寄与することを目的として設置された当該基金に対し、新たな寄附を受けたことにより、これを基金に積み立てて管理運用を図るため、本条例の一部改正が行われています。

#### 議案第66号

三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

※平成28年3月31日をもって、「菊狭間環境整備施設組合」が解散し、三重県市町公平委員会から脱退することにより、共同設置する地方公共団体の数が減少することについて、関係地方公共団体と協議するため、地方自治法第252条の2の2第3項の規定により議会の議決を求められたものです。

#### 議案第67号

三重県市町公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について

※議案第66号と同様に、「菊狭間環境整備施設組合」が解散し、三重県市町公平委員会から脱退することにより、共同設置規約の一部を変更する規約を定めることについて、関係地方公共団体と協議するため、地方自治法第252条の2の2第3項の規定により議会の議決を求められたものです。

※全議案ともに全会一致で可決されました。

議件名（議案の内容）

(初 日)

#### 1. 執行部議案

##### 承認第2号

専決処分事項の承認を求めることについて

(議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について)

※被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴う地方公務員災害補償法施行令の一部改正に伴い、急施に所要の改正を行う必要が生じたため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行ったので、これを報告し、承認を求められたものです。

##### 承認第3号

専決処分事項の承認を求めることについて

(木曾岬町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について)

※被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律等の一部の規定が、平成27年10月1日から施行されることに伴い、急施に所要の改正を行う必要が生じたため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行ったので、これを報告し、承認を求められたものです。

#### 議案第59号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第3号)について

※既決予算額の総額に歳入歳出それぞれ23,000千円を追加し、予算総額を3,728,000千円とする補正予算です。

○今回の主な補正の内容は次のとおりです。

- ・農地中間管理事業補助金の増額
- ・国民健康保険特別会計への繰入金金の増額
- ・実績に伴う福祉医療費の増額
- ・選挙人名簿システム改修費の追加
- ・厚生年金制度への一元化に伴う人件費関連予算の増額 ほか

#### 議案第60号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

※既決予算額の総額に歳入歳出それぞれ6,960千円を追加し、予算総額を1,057,440千円とする補正予算です。主な補正内容は、歳入では、保険基盤安定負担金の交付見込額確定に伴う一般会計繰入金を増額、歳出では、退職被保険者等療養費負担金を実績により増額しています。

#### 議案第61号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額の総額に歳入歳出それぞれ1,566千円を追加し、予算総額を107,566千円とする補正予算です。主な補正内容は、歳入では、前年度からの繰越金の確定に伴う保険基盤安定繰入金を増額、歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金の増額が行われています。

聞いて  
聞きたい

# 一般質問

この記事は、通告順に掲載し、  
質問議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、  
一般質問の全文は

木曾岬町議会会議録(北部公民館にて公表で  
ご覧いただけます。

町政のゆくえは…

## 2名の議員が質問

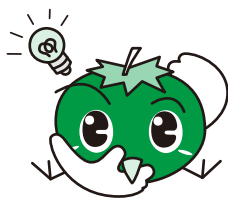
↑シ数 5 — 9番議席 伊藤 正議員

- 木曾岬町立幼稚園・保育園統合(案)は  
詳細に調査・検討を
- ごみ処理の減量化を

↑シ数 6 — 2番議席 伊藤 守議員

- 防犯カメラの設置について
- 企業誘致について

Q&A



# 一般質問



9番議席 伊藤 正 議員

## 木曾岬町立幼稚園・保育園統合(案)は詳細に調査・検討を

広くご意見を伺いながら  
検討していく 町長

### 質問

当町ではアンケート調査結果を元に、平成27年度から平成31年度までの「子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

こうした中、10月4日に中部幼稚園・保育園で盛大に運動会が開催され、運動場は満員、駐車場は満車でした。この現状で、先の全員協議会では中部幼稚園保育園、南部幼稚園保育園の統合(案)が示されましたが、もっと詳細に調査をし、検討すべきではないか。

### 答弁

現在、南部幼稚園・保育園には60名、中部幼稚園・保育園には99名が在園中です。

ここ数年の出生児数は、年間30名程度にとどまっています。このように子どもの数が減少する中で幼児一人ひとりが同等に適正な集団規模での教育・保育を受ける環境が望ましいと考え、今後、統合に向けて「木曾岬町子ども・子育て会議」の開催や、子どもの保護者子ども・子育て支援事業の従事者、有識者の方々の意見をお聞きする等して、検

討を進め、町民の皆様にご理解いただけるよう、説明をしていきたいと考えています。



## ごみ処理の減量化を

意識啓発を含め、ごみの減量化に取り組み 町長

### 質問

本年4月1日よりごみ袋の価格が1枚35円から20円に改定されましたが、4月から現在におけるごみの排出量は前年比でどのような状況になっていきますか。また、各地区のごみ集積場のごみ袋の身はきちんと分別がされていますか。加えて、生ごみの堆肥化で減量を図るとされていますが、生ごみ処理槽等の普及が進んでいますか。

### 答弁

ごみの排出量の状況は、4月から11月分までの実績を昨年と比較しますと、平成26年は73.6.13t、平成27年は73.7.95tと同程度の排出量です。現時点では、改定による影響は無いと考えられます。

次に、ごみ集積場のごみ袋の分別は、ごみの収集と併せて確認しており、収集できないものは貼り紙をし



南部幼稚園保育園(遠景)

て各自治会で整理して頂いています。また、ごみ袋の中身の分別状況につきましては、桑名広域清掃において、年1回、各市町の職員立ち合いのうえ、ごみの搬入検査を実施しており、概ね良好です。

次に、生ごみ処理槽等の普及では、設置に要する補助金を交付し、平成26年度までの交付実績で、生ごみ処理槽122件、生ごみ処理機188件となっています。本年度からは、1回目の交付を受けた日から、7年以上経過し故障等により買い替えをする場合も交付対象となりました。



ごみ集積場





2番議席 伊藤 守 議員

## 防犯カメラの設置について

ガイドラインを踏まえ、  
設置を検討する ——— 町長

**質問** 防犯カメラの設置は、安全で安心して暮らせる町の実現に大きな役割を果たすものと考えられ、これまでも一般質問の際に質問してきました。勿論、プライバシーに対しても配慮すべきことはあるでしょうが、設置に向けた町の対応や取組はどこまで進んでいますか。

**答弁** 防犯カメラについては、現在、三重県において、防犯カメラの設置及び運用に際して最低限配慮すべき事項をとりまとめ、適正な運用が図られるようガイドラインの策定が進められているところです。本町にあっても、平成26年第1回町議会定例会一般質問等において答弁をさせていただいているところですが、従来から、防犯カメラの犯罪抑止力や住民への安心感の醸成など、その効

果は認識しています。現在の県における検討の動向に

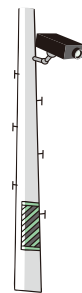
## 企業誘致について

企業誘致を進め、  
税収の確保  
及び雇用の創出に努める ——— 町長

**質問** 本年、町内の富田子建設されました。町の税財源の確保の面や雇用に関して、企業誘致は地域経済にもたらす効果は大きいと考えられます。町内には、企業誘致が可能と考えられる空地がどの程度存在しているのか、町の把握の状況とどのような誘致活動を進められているのかお伺いします。

**答弁** 「町内には企業誘致が可能と考えられる空地がどの程度存在しているのか」の質問ですが、企

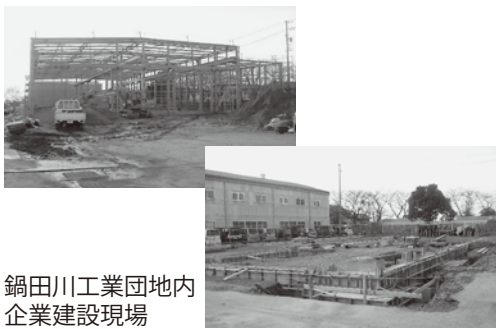
注視するとともに情報収集に努め、策定されるガイドラインを踏まえた防犯カメラの設置等について対応していきたいと考えています。



業が立地出来る場所は、都市計画法により制限されており、5年に一度実施される都市計画基礎調査によりますと平成24年度の結果では、工場建設などの開発ができる市街化区域の101.9ヘクタールの内、未利用地は7.5ヘクタールで、率で言いますと7パーセント程度となっております。市街化区域には用途の規制がありますので、工場の建設できる未利用地は半分以下となり、いずれも個人の所有地で、その土地も点在している状況です。

当町の企業誘致について

は、平成7年度から8年度にかけて土地開発公社の開発により、約10ヘクタールの土地に17区画の鍋田川工業団地を造成し、企業誘致を図っております。以降は、「桑員地域産業活性化計画」を策定し広域が連携して企業誘致を図りつつありますが、平成20年秋のリーマンショックにより、本町においても製造品出荷額が減少するなど企業立地を取り巻く環境は厳しく、まとまった工業用地の確保が難しくなっています。鋭意努力をし、企業誘致を進め、税収の確保および雇用の創出に努めていきたいと考えています。



鍋田川工業団地内  
企業建設現場

# 議会日誌

## 2015 10月

- 24日 ●平成27年度緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練・三重県総合防災訓練(桑名市長島運動公園)に伊藤浩議長、伊藤律雄副議長出席
- 25日 ●治水昭和の宮例祭(海津市)に伊藤浩議長出席
- 26日～27日
  - 三重県町村議会議長会県外行政視察(福井県永平寺町他)に伊藤浩議長出席
- 30日 ●三重県関係部長等との意見交換会(津市)に伊藤浩議長出席

## 2015 11月

- 1日 ●秋の文化祭(町体育館)に議員多数出席
- 3日 ●桑名七里の渡し開園記念式典(桑名市)に伊藤浩議長出席
- 6日 ●北勢5町議会議員研修会(菰野町)に議員多数出席
- 9日～10日
  - 木曾岬町議会議員研修・行政視察(福島県 会津若松市、大熊町)に議員多数出席
- 11日～12日
  - 第59回町村議会議長全国大会(東京都内)に伊藤浩議長出席
- 13日 ●議会全員協議会
- 14日 ●終戦70周年戦没者追悼式(福祉教育センター)に議員全員出席
- 17日 ●例月出納検査に三輪一雅監査委員出席
- 17日・18日
  - 定期監査に三輪一雅監査委員出席
- 19日 ●長野県生坂村議会議員研修のため来町伊藤浩議長、伊藤律雄副議長対応
- 26日 ●議会議員懇談会
- 27日 ●三重県町村議会議長会 県議会に対する要請活動(津市)に伊藤浩議長出席
  - 防犯委員会夜間パトロールに伊藤守議員出席

## 2015 12月

- 4日 ●議会運営委員会
- 5日 ●第19回中学生の主張大会(桑名市多度町)に伊藤浩議長出席
- 6日 ●町内一斉清掃活動に議員多数出席
- 9日 ●例月出納検査に三輪一雅監査委員出席
- 10日 ●木曾岬町議会第4回定例会(初日)
- 11日 ●中部幼稚園保育園、南部幼稚園保育園クリスマス会に議員多数出席
- 15日 ●第4回定例会(一般質問日)
- 16日 ●社会福祉協議会第3回評議員会に三輪一雅議員出席
- 17日 ●第4回定例会(最終日)
  - 行政視察(小・中学校 外付け階段及び屋上テラス、複合型施設建設工事杭打ち現地)
- 18日 ●“新成人と語る集い”に伊藤浩議長出席
- 29日・30日
  - 木曾岬町消防団年末防犯夜警激励に服部美二夫議員、伊藤守議員出席

## 2016 1月

- 3日 ●木曾岬神社正月祭に議員多数出席
- 9日 ●木曾岬町成人式に議員多数出席
- 10日 ●平成28年木曾岬町消防出初式に議員多数出席
- 12日 ●議会広報常任委員会
- 13日 ●例月出納検査に三輪一雅監査委員出席
- 20日 ●桑名広域清掃事業組合臨時会、桑名・員弁広域連合臨時会(共に桑名市)に伊藤浩議長出席
- 21日 ●議会広報常任委員会

### みなさまのご意見を募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。

また、要望など、どのような内容でも結構です。ご意見、ご質問をお寄せください。

**提出先** 議会広報常任委員会(議会事務局)  
**TEL 68-6108**

### 木曾岬町議会の LINE@を登録しよう!!



左記QRコードを読み取り、木曾岬町議会のLINE@を登録すると、定例会や各種委員会の情報を受け取ることができます。

### 議会をぜひ、傍聴にきてください。

議会は、どなたでも傍聴することができます。

皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

本会議の当日、庁舎2階の傍聴席入口で受付しています。受付は、ご住所とお名前を記入していただくだけです。

#### 次回、3月定例会、本会議の予定です。

- 3月 2日(水) 午前9時 開会、議案上程を予定しています。
- 3月 15日(火) 午前9時 一般質問を予定しています。
- 3月 17日(木) 午前9時 議案採決、閉会を予定しています。

なお、各日程等は変更する場合がございますので、お手数ですが議会事務局までお問合せいただけますようお願いいたします。

問合せ先

議会事務局 **TEL 68-6108**



# 行政報告

要旨



加藤 隆 町長

今期定例会にあたり行政報告をいたします。

まず、「2016年主要国首脳会議(サミット)」でございですが、平成28年5月26日から5月27日まで、三重県伊勢志摩で開催されることが平成27年6月5日に安倍首相より発表されました。

これを受けて三重県では、6月26日に県庁内横断組織として「三重県伊勢志摩推進本部」を設置し、また、オール三重県で官民一体となった受入体制の確立と関連する事業を推進するため、産業・経済・運輸な

ど幅広い分野の会員からなる「伊勢志摩サミット三重県民会議」が設立しました。

この県民会議では、次の4つの基本方針が掲げられています。

一つ目に、宿泊・輸送サービスなどの「開催支援」に関すること。

二つ目に、クリーンアツプ運動や花いっぱいおもてなし運動の展開など「おもてなし」に関すること。

三つ目に、ジュニアサミットの提案など、「明日へつなぐ」取組みに関すること。

四つ目に、地元三重県の

PRとして「三重の発信」に関すること。でございます。

特に「ジュニアサミット」については三重県開催の提案書が採用され、10月27日

に岸田外務大臣より三重県開催の発表があり、開催期間を平成28年4月22日から4月28日までの予定で主会場を桑名市とし、県内各地で視察や交流イベントなどを開催する予定となりました。

討議のテーマは「次世代につなぐ地球、環境と持続可能な社会」となっており、G7の各国から15歳〜18歳

の男性2名・女性2名の計4名のチームで参加されます。日本代表チームについては、現在、三重県内から選考するよう募集が開始されたところです。

また、開催期間を通じて県内高校生等が参加者と交流できる機会を可能な限り設けて頂くよう協議を進めていただいておりますが、詳細についてはこれから決まっていくとのことでございます。

町といたしましても、又とないこの機会に関わることもできないか、例えば成果発表の場を地元の子ども



達が視聴できないか強く要望をいたしたところでございます。

そのほか、「クリーンアップ運動」の清掃活動などについては、サミット100日前イベントとして2月16日前後のウィークを基本に開催される予定であり、また「花いっぱいおもてなし運動」の花を育てる活動などについては、サミット50日前イベントとして4月6日を中心開催される予定となっていることから、県は今後各市町を訪問し、これに関連する既存活動を中心に連携を図っていくとのことでございます。

現在、市町の取組みといたしましては、カウンタダウンボードの設置、ポスターの掲示、12月28日には、サミット150日前を契機に県内一斉の懸垂幕、横断幕の掲出を予定しております。

何れにいたしましても、県民が一丸となってサミットという世界最高峰の国際

会議を成功させるため、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

次に、社会保障・税番号制度（いわゆる、マイナンバー制度）について報告させていただきます。

この制度の概要は、住民票を有するすべての国民に、生涯を通して変わることはない12桁の番号を付番し、この番号を使用方法の機関や市町村等が持つております個人のさまざまな情報を同一人の情報かどうか確認する基盤と考えられ、目的としては、適正な社会保障と税負担の公平性を目指す「公平・公正な社会の実現」、行政手続における添付書類等を簡素化する「国民の利便性の向上」、被災者台帳の作成など迅速

な行政支援を見込む「行政の効率化」を挙げられております。

制度実施に向けての流れとしましては、既に住民の皆様にはマイナンバーをお知らせする「通知カード」が各家庭に届けられており、議員の皆様もご承知のことと思います。また、公

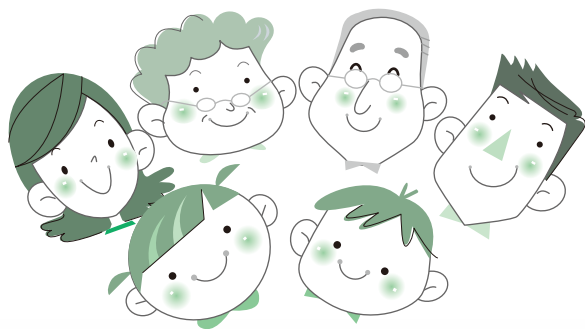
的身分証明書となる「個人番号カード」を必要とする方については、通知カードに同封されました申請書により交付を受けることができます。

このマイナンバーは、平成28年1月から社会保障・税・災害対策の手続きで利用が開始されます。また、申請されました「個人番号カード」の交付も始まります。平成29年1月からは、国の行政機関の間で情報連携が始まり、同年7月からは地方公共団体等も含

めた情報連携が開始される予定となっております。

このことから今後は、さまざまな場面でマイナンバーが必要となってきますので、通知カード等は大切に保管願いたいと思います。

以上のことを申し上げます。行政報告といたします。





## 北勢5町議会議員研修会が開催されました

11月6日、三重郡菰野町庁舎において、関係町の議員が一堂に会し、議員研修会が開催されました。

この研修会は、北勢5町（菰野町・朝日町・川越町・東員町・木曾岬町）の連携を密にし、議会活動の進展を図ることを目的とした事業の一環として行われ、当日は、障害者の就労支援に取り組まれている社会福祉法人「フロップ・ステーション」の竹中ナミ氏を講師に招き、「すべての人が誇りを持って生きられる社会に！ユニバーサル社会の実現をめざして」というテーマで講演が行われ、「チャレンジ」の自立と社会参画、就労の促進の実践事例など多方面での活動のお話がありました。



～地方創生の実現をめざして～

## 町村議会議長全国大会が開催されました

11月11日、東京都渋谷区の「NHKホール」で、第59回町村議会議長全国大会が開催され、伊藤浩議長が出席されました。

この大会は、「国の景気は、緩やかな回復基調が続いているものの、町村においては、少子・高齢化や過疎化の中で、依然として厳しい経済・雇用情勢に悩まされ、地域の活力は減退している。加えて、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故による影響は、被災地のみならず我が国社会全体におよび本格的な復興に向けて解決すべき課題が山積している。今こそ、国と地方が一体となって、本格的な復興への取組みを加速化させ人口減少の克服と地方創生を実現するために、町村の自治能力を高め、都市と農山漁村が「共生」しうる社会を強力に推し進めていくことが重要であり、地方創生の実現をめざし、一致結束して果敢に行動していくこと。」

を確認し、当日、「東日本大震災からの復興及び大規模災害対策の確立」「分権型社会の実現と道州制導入反対」といった大会決議17項目の採択と「地方創生の推進」「町村税財源の充実強化」などの特別決議6項目を採択し、終了しました。



## 行政視察を実施しました

12月17日(木)、木曾岬町議会第4回定例会の閉会后に、行政視察として11月30日に完成した「木曾岬小学校・木曾岬中学校 外付け階段及び屋上手摺」を視察しました。

今回完成した施設は、災害時の一時避難所として校舎屋上を児童・生徒・教職員並びに地域に住まわれる住民の緊急避難場所としての利用を予定しています。



### 《外付け階段及び屋上手摺等設置その他補強等工事概要》

総事業費 46,437千円 (内訳 補助対象事業費 38,536千円  
補助対象外事業費 7,901千円)

国庫補助金 16,100千円 (約42%)

県補助金 6,422千円 (約17%)

町費 23,915千円

・小学校屋上避難者収容人数 798人 ・中学校屋上避難者収容人数 742人



## 議員視察研修を実施しました

11月9日(月)～10日(火)にかけて、議員研修を実施しました。

今回の研修は「議会改革と広報・広聴活動」を主体として、福島県会津若松市、同双葉郡大熊町を町長等も同行し視察しました。

9日に視察した会津若松市議会では、「議会からの政策形成～議会基本条例で実現する市民参加型政策スタイル～」を主題に、議会の見える化とそのシステムづくり、市民との意見交換会などの状況をお聞きしてきました。

政策サイクルでは、一人の議員の発言ではなく、政策討論会を通じて合議体である議会として纏めていく。市民との意見交換会では、テーマを設定し市内15地区別にそれぞれ年2回開催されており、出された意見等は広報広聴委員会で整理・検討し、対応方針を協議されている。

議員自らが意思を持って進められている改革であり、市民との意見交換も計画的に行われているなど、参考とすべき点が多いと考えています。

10日に視察した双葉郡大熊町議会では、「町議会座談会の実施、議会インターネット中継を始めとした町民への情報発信」などの状況をお聞きしてきました。

大熊町は、平成23年3月11日の東日本大震災に起因する福島第一原子力発電所事故により、発電所の半径を20km圏内に「警戒区域」が設定されたため、町役場の主要機能は約100km西に位置する会津若松市に移転、町民約11,000人も、会津若松市やいわき市をはじめ、全国各地に避難されている。平成24年12月10日に、「警戒区域」が「帰還困難区域」「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」に再編され、町民の約95%が居住していた地域が「帰還困難区域」とされている。こうした中、平成24年9月に「第一次復興計画」、平成27年3月に「第二次復興計画」を策定され、今後10年程度において取り組むべき施策・事業を整理されています。

計画の理念は、「避難先での安定した生活(生活再建支援)」と「帰町を選択できる環境づくり(町土復興)」とされ、行政拠点やコミュニティ拠点の配置も計画をされています。

こうした現状の中で、定例会本会議は動画共有サイトを用いてライブ映像をインターネットにて配信、また、町民との座談会町政懇談会も開催されていることなどをお聞きしました。

大熊町の復興に向けた取組みに掲げられる重点施策などの内容もお聞きし、そうした施策が一体的・効率的かつ着実に推進されることをご期待し、研修を終えました。



会津若松市議会 議場



大熊町議会 研修室



会津 鶴ヶ城

## 編集後記

新年を迎え、1ヶ月ほどを経過しましたが、昨年は木曾岬町において大きな災害が無かったことに感謝し、また今年も穏やかな1年であることを願っています。

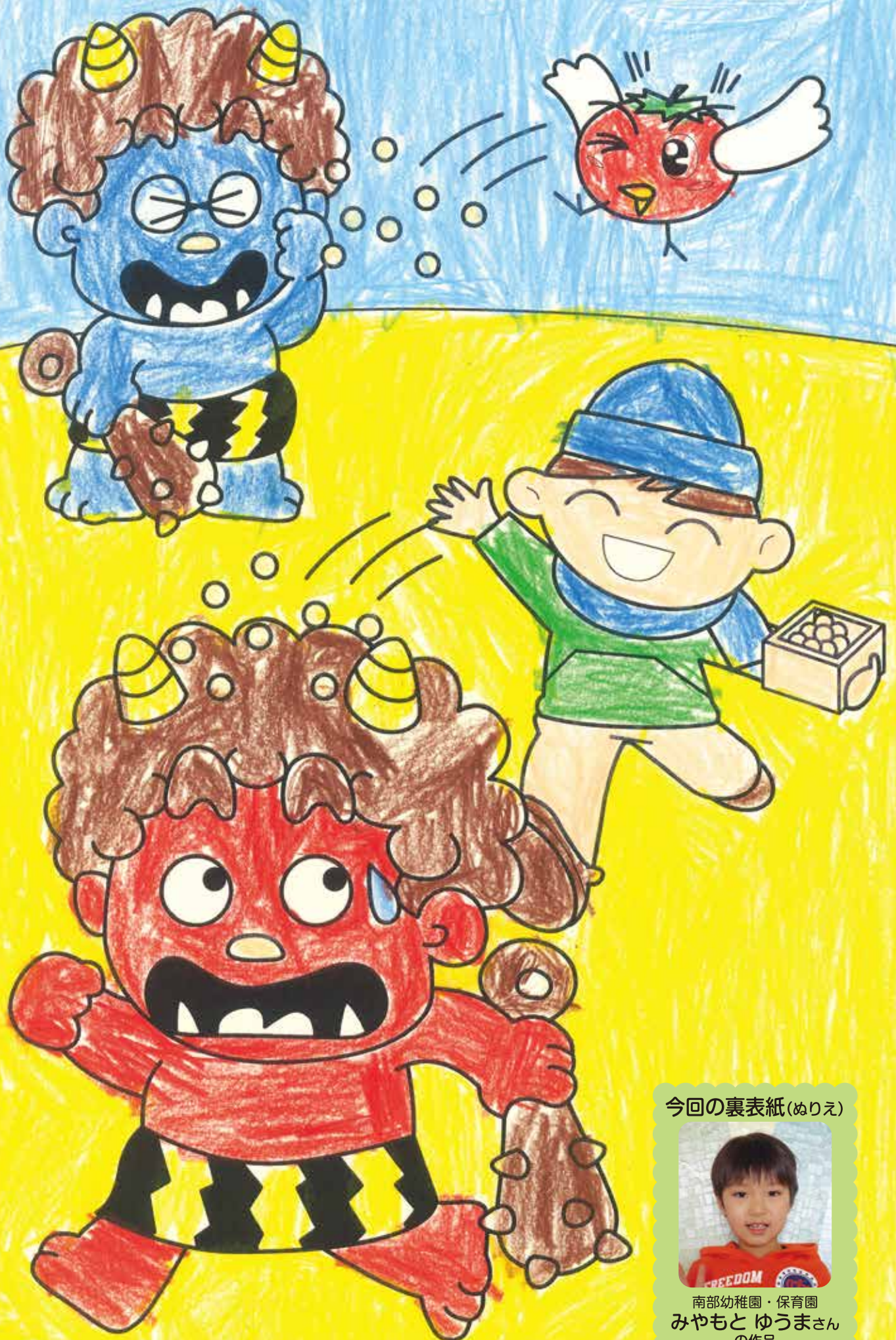
本年秋には複合型施設の行政棟部分の完成が予定されています。この施設は防災拠点であると共に高台避難施設を兼ねる施設となります。このように、町は防災対策を最重要課題の一つとして取り組んできていますが、災害の発生時にどのように行動するか、ご家庭の中で話し合っているだけでも重要なことと思っています。

3月には町議会定例会が開催され、平成28年度の予算などの審議が行われます。審議の内容などは議会広報5月号でお伝えすることになります。が、少子高齢化や人口減少社会に対応するために取り組む「まち、ひと、しごと地方創生事業」総合戦略など、今後の施策の展開を慎重に審議していきたいと考えています。

ここに、第86号の議会だよりをお届けします。紙面へのご意見・ご感想などをお待ちしております。

議会広報常任委員会一同





今回の裏表紙(めりえ)



南部幼稚園・保育園  
みやもと ゆうまさん  
の作品